



N0541

**治安維持法犠牲者
國家賠償要求同盟**
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail chian@bz03.plala.or.jp
価格 50円

大会成功を力に参議院選勝利 「さらに行動する同盟」建設を



大会は、吉田万三副会长が開会あいさつし、この間に亡くなられた会員に黙とうをささげました。

大会は、目前に迫った参院選挙での全国32の1人区で野党4党と1会派で統一候補がほぼ決まり、市民連合との13項目の共通政策も合意されたことを心から歓迎する」と述べ、「同盟要求実現選

が6月4～5日、東京都内の全労連会館で開かれました。大会では、安倍改憲を阻止し、市民と野党の共同による連合政府の実現をめざしてたたかい、「創立50周年記念・連盟運動躍進年間」の活動の成果と教訓を生かし、「さらに行動する同盟」への飛躍めざす方針とその先頭につ役員を決めました。また「『9条に自衛隊を書き込む』憲法改悪に断固反対します」の特別決議を採択しました。

第39回全国大会特集

- 私も一言／永島民男・東京山宣会会長……
- 抵抗の群像／沖縄の無産者運動の組織化・志多伯克進……
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳……

第39回全国大会特集

(1ページからのつづき)
20年代とその後の時代を切り開くたたかいを担う若者たちを迎えるなどをくわしく解説しました。



写真は右から井上
哲士、望月憲郎、
泉澤草、長尾ゆり、
鈴木章治の各氏

法曹団の泉澤章幹事長、全労連の長尾ゆり副議長、レッドパーク反対全国センターの鈴木章治事務局長が来賓

あいさつ。安倍改憲を許さず、参院選で勝利したい（井上さん）、国賠同盟の活動に学び、負けないようにならねばならない（望月さん）日本が取るべき道は9条の平和思想をひろめること（泉澤さん）、子どもたちにいつか来た道を歩かせないためにがんばりたい（長尾さん）、人間の尊厳をかけてたたかいの記録映画をつくる運動をしている（鈴木さん）と連帯と激励のあいさつをしました。

田中幹夫事務局長は、参院選挙では、「市民と野党の本気の共闘」で、32の1人区で少なくとも3年前の11人以上の成果を出すために力をつくそうと呼びかけ、その勝利こそ同盟要求実現の確かな保証でもあると強調しました。

「創立50周年記念・同盟運動躍進年間」では2万人の会員をめざして取り組み、1万6397人となり史上最高で大会を迎えたことを報告すると大きな拍手がおきま

(3ページにつづく)

(2ページからのつづき)

自主目標を達成したのは千葉、
青森、岩手、岡山、兵庫、静岡、
埼玉、熊本の8県。5人以上の拡
大は31都道府県で146人、10人
以上の拡大は22都道府県で60人と
なったことを報告。各都道府県の
自主目標の合計は1万9179人
これを1日も早く達成して2万人
の同盟をつくろうではありません
かと呼びかけました。

最高の187人が参加。18歳の責任をはじめ初参加が多かつたことを報告。紹介議員は5月29日現在で衆参合わせて80人。昨年までの紹介議員には地元事務所を訪問し要請するなどして紹介議員を増やすよう訴えました。

最高の187人が参加。18歳の青年をはじめ初参加が多かつたことを報告。紹介議員は5月29日現在で衆参合させて80人。昨年までの紹介議員には地元事務所を訪問し、要請するなどして紹介議員を増やすよう訴えました。

地方議会での意見書採択、犠牲者の顕彰活動、支部建設、女性部の確立、全国で青年部をつくろう、

田中事務局長はまとめで、「創立50周年記念・同盟運動躍進年間」の活動が生きいきと報告されました。大会では27県から40人が発言し、文書発言が2人からあり、どれも総合的で立派なたたかいをし

会などについて報告しました。

ているものだった。共通しているのは支部を中心に活動をしているところで前進しています。

請願署名では、目標をキチンと持つて推進体制を取つている支部で前進しており、目標を明確にしてとりくむことを強調。この2日前の発言を生かして活動すれば、前進することが確信となつたと指摘。なるべく早く2万人の会員を実現しようと結びました。



私も一言

今年は山宣こと山本宣治の生誕130年、没後90年にあたります。東京山宣会として千代田区の「まちの記憶保存事業」に申請し、区の事業として山宣終焉の地に顕彰プレートが建立され、3月17日に東京山宣会として除幕式、記念集会を開催しまし



東京・神田に

今年は山宣こと山本宣
ています。

治の生誕130年、没後
90年にあたります。東京
山宣会として千代田区の
「まちの記憶保存事業」
として山宣終焉の地に顕彰

「軍國主義の時代、国民弾圧の治安維持法に反対した唯一の代議士。1929年（昭和4年）3月5日夜、定宿の光榮館があつたこの地で右翼の暴漢の凶刃より39歳の生涯を閉じた」このプレートの建設は千代田区民にとどまらず

いまは879人なので、県本部大
会までには900人にしたい。同
盟の催しに参加した人にはすべて
「当たりたい」と決意を表明しまし
た。

3月17日に東京山宣会として除幕式、記念集会を開催しました。

東京・神田に山宣顕彰プレート

永島民男

ても歴史を通じて現在をみつめるものとなるはずです。

瀬義昭さんは「60人をめざして、拡大の手は緩めていない。私にとつては犠牲者の叔父に対する弔い合戦でもあります。玄武では

会には山宣の次女美代さん、孫、曾孫など親族をはじめ、北海道から九州まで全国から200人以上の参加がありました。神田神保町の山宣プレートには以下の文字が刻まれ

今後プレート前集会、山宣東京ツアーナど、多彩な取り組みを通して山宣の顕彰と現在に継承すべき課題、そして私たちの生き方を問うていきたいと思つています。
(東京山宣会会长)

瀬義昭さんは、「60人をめざして、拡大の手は緩めていない。私にとつては犠牲者の叔父に対する弔い合戦でもあります」と。拡大では「心を揺さぶるラブレターを書いています。同盟のことを知らないのだから、急いで知らせなくては。相手の品定めをしてはいけない。(4ページにつづく)

(3ページからのつづき)

遅くなつて「免なさい」という気持ちで訴えている」と話しました。会員拡大130%を達成した北海道北見支部の佐々木秀之さんは、しつかり議論する②「不届北見支部版」を発行して、会員があらゆる機会に署名を呼びかける③財政を重視し会費・カンパ・新年広告など決めたことを100%やりきる、と発言。

長野県・三沢実さんは伊藤千代子の顕彰活動を半世紀近く追求した経験述べました。

《発言者とテーマ》

【1日目】▽兵庫県・岡正信▽高知県・岡村正弘「楳村浩の顕彰活

(26団体・個人1、順不同、敬称略)

第39回全国大会へメツセー

ジをいただいた団体・個人

憲法改悪阻止各界連絡委員会

安保破棄中央実行委員会

國土交通労働組合

自交総連

新日本婦人の会中央本部

全国商工団体連合会

全國生活と健康を守る会連合会(全生連)

動▽岩手県・牛山靖夫「会員数

【2日目】▽北海道・本間昭一

木車

丸山穂高衆院議員の「戦争をしないと北方

を過去最高で迎えて行動する同盟

づくり、犠牲者名簿作成の用語・

会員拡大▽沖縄県・村山純「新

数値について」▽福島県・安齋供

基「松川事件70周年集会の取り組み」▽大阪府・眞殿天童「犠牲者

遺族の調査・顕彰について」▽神

奈川県・宗形考至「政治情勢と県

大会の準備」▽青森県・鎌田哲成

「3・15、4・16大弾圧を糾弾す

る集会を1991年来継続した力」▽千葉県・藤田廣登「伊藤千代子

の映画化、治維法下の犠牲者に関

わる膨大な書籍・資料の収集と図

書機能」▽岡山県・福井正樹「県

内の支部建設の広がり」▽北海道・

野瀬義昭▽鳥取県・石川雄光「八

頭町議会の意見書採択の経験」

平和・民主・革新の日本をめざす全国

の会(全国革新懇)

の会(全国協議会)

第65回日本母親大会実行委員会

全労連・全国一般労働組合

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ

日本医療労働組合連合会

日本キリスト教友協会

日本国家公務員労働組合連合会

日本婦人団体連合会

日本民主青年同盟中央委員会

日本水爆禁止日本協議会

援する会

日本うたこえ全国協議会

援する会

映画「伊藤千代子の生涯」ゴーゴービ

ジユアル企画監督桂壮三郎

未来を展望する「今日の日本にとつて重要な活動」であることが明確

にされ、転換期と捉えて「さらに行動する同盟」へ前進をしようと意気高い大会になりました。(池)

▶先の全国大会は、今日の「同盟運動」が、過去の古い話ではなく、未来を展望する「今日の日本にとつて重要な活動」であることが明確にされ、転換期と捉えて「さらに行動する同盟」へ前進をしようと意気高い大会になりました。(池)

界では歴史の負の遺産の清算が進み、西ドイツのヴァイツゼッカーハンス・大統領の「過去に目を閉ざす者は、結局のところ現在にも盲目となる」との名言の様に、歴史の教訓を生かした政治を進めています

▶先の全国大会は、今日の「同盟運動」が、過去の古い話ではなく、未来を展望する「今日の日本にとつて重要な活動」であることが明確にされ、転換期と捉えて「さらに行動する同盟」へ前進をしようと意気高い大会になりました。(池)

抵抗の群像



沖縄の無産者運動の組織化に力尽くした

志多伯 克進

1908年、那覇市久米町に生まれた。31年に組織された沖縄教育労働組合（O.I.L.—オイル）の指導者の一人である。昭和初期、無産運動の高揚期にあって本土と沖縄を往来し、沖縄の運動の組織化のために力を尽くした。

29年には東京で関東自由労働組合の執行委員をつとめ、松本三益らとともに労農同盟沖縄対策協議会を開催した。30年4月に沖縄に帰郷、翌年1月3日に教育労働者組合が設立された。

中央指導部には志多伯のほか、真栄田一郎、安里成忠、大城永繁がいた。4つの地区委員会をおき、雑誌『新興教育』の読者会を計画した。組合の組織化は細心の注意をはらいながらすすめられたが、実践活動に入る直前の2月5日から「手入れ」がはじまり、弾圧をうけた。指導部の4人は治安維持

法違反で起訴され、志多伯は4年間投獄された。

オイルの結成にも関わり、經營する洋服店を拠点にメンバーへの連絡や東京から送られてくる書類を受け渡し、公判準備のため、東京から派遣された布施達治弁護士の受け入れなどに奔走していた大嶺静子（後の志多伯夫人）は、「沖縄事情」（1975年）のかで、つぎのように書いている。

「志多伯は鍛えられているから刑務所にはいつも全然まいらない。『獄中通信』で分かりましたが、同志たちを励ますために、『琉歌』をつくるんですよ。『オイ大城、オーライ真栄田、ちょっと聞けよ』といって、高い壁に向かって大きい声で歌を読むと全部の独房に聞こえる。『闇の楚辺原（刑務所のある地域）に心甘くなよ。胆の火を照らし、節をまつとう』

「危なくはあつても乗つた船だもの。意地の舵とて、わが島につけよう』『面影がたつたなら、花の便りくださいな。蝶になつて私は、お口を吸いましよう』など

の『琉歌』はよくおぼえています。また、刑務所の所長が「君、頑固だね」というと、志多伯は「あんたから佐野、鍋山の転向声明を見せられた時、俺は反対の批判文を書いただろう。あの気持ちはずっと残っているからね」と答えたそ

うです。とにかく肝の据わったひとでした」

志多伯が釈放されたのは1934年9月である。37年からは横浜、東京に移住した。横浜・鶴見で静子と所帯をもち、「琉球料理店」を営みはじめ、終戦直後からは東京・新宿駅西口で「琉球志多伯」を開店し、60年には歌舞伎町で

「酒禮門」をひらいた。志多伯をよく知る人たちは、志多伯のオヤジの哲学は第一に人間は平等であること、第二に貧乏人を蔑まず、お金持ちを恐れないこと、第三は真心をもつて事にあたることだそうだ。

志多伯克進・静子は、本土で暮らしつつも沖縄返還運動に力をつくし、つねに沖縄と本土の運動のパイプ役を果たし続けた。

（沖縄県本部代表委員 村山 純）

これはやはり戦前の社会運動時代に豚バコにぶち込まれたり、法廷に立たされたりした苦闘のなかから生まれたものに違いない。終戦直後、新宿のテキヤを向こうに回して空手で打ち負かしたという武勇伝も有名だ。

第39回大会 新三役が 日本共産党を表敬訪問

一千人の同盟めざす 兵庫県本部総会

増本一彦会長をはじめ14人の新役員が6月13日、日本共産党中央委員会を訪問、柳沢明夫法規対策部長、小林亮淳副部長と懇談しました。



第38回県本部総会に55人が参加。創立50周年・県本部結成35周年記念躍進年間において県同盟会員が876人に達し、最高の峰を築いたことを報告。この成果と教訓

上に立って、「一千人の同盟、さらに行動する同盟」に発展させる方針を提起し、決定しました。討議では6人が発言、①女性の会の活動に55人が参加②全国大会に参加して③高砂支部の取り組み④西播地域での遺跡ツアーナど⑤同盟との出会いと拡大⑥尼崎の弾

犠牲者について、いずれも総会を有意義なものにしました。

新役員を選出し、「行動する同盟」に向かって留任した岡会長のもとで充実した体制を固めました。なお島田正義さんが副会長を退任して顧問に就かれました。

(県常任幹事 戸崎曾太郎)

事務局日誌

第30回全国女性交流集会	
日 時	会 場
11月10日(日)午後1時開会	ニユーウエルシティ湯河原
11月11日(月)12時解散(オープション企画)	平山知子さん(あかしあ法律事務所弁護士)
※「父菊池邦作の軌跡」	犠牲者遺族として、弁護士として、縦横に語ります。『治安維持法と現代』2018年秋季号(NO.36)に掲載。全国からご参加ください!
詳細は中央本部事務局まで	
6月27日 会	日本母親大会実行委員
6月23日 国際人権活動日本委員会幹事会	参院選1人区32選挙事務所へ檄文発送
6月22日 東京都本部大会	神奈川県本部大会
6月17日 レバ全国連絡センターとの懇談会	紹介議員要請行動
6月15日 神奈川県本部大会	「不屈」編集会議
6月13日 共産党中央委員会表敬訪問、三役会議	3・1朝鮮問題学習会 学名誉教授
6月6日 拡大女性部会	中塚明・奈良女子大会
6月5日 第39回全国大会	
6月4~5日 三役会議	

2019年春季号

『治安維持法と現代』

絶賛発売中



【主な内容】 “数は力！” 第39回全国大会成功バネに=増本一彦、非国民の汚名きたまま旅立ちたくない=北海道・生活図画事件=松本五郎、犠牲者のいま=水谷安子、杉浦正男さんを訪ねて、治維法犠牲者に国家賠償法制定を求める18年度の紹介議員のみなさん、多喜二虐殺と特高告訴の試み=荻野富士夫、治維法と考古学=菊池誠一、まつやまふみおの「ハンセンエホン」=石子順、「伊藤千代子の生涯」劇映画化=桂壮三郎、「山宣終焉の地プレート」除幕=永島民男、Q&A「天皇の代替わりをどうみるか」=石山久男、《弾圧・抵抗の群像》特高監視下の室蘭「炭かすの街」詩社の人々、「同盟活動」「東北ブロック交流集会in岩手」を終えて。

A5判 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。